

のびのびリング

<http://www.yuzuriha.or.jp/> 編集発行：医療法人協治会 杠葉病院 ☎095-878-3734



「のびのびリング」という名称は、のびのび・和気あいあいとした雰囲気のもと、患者様、地域の皆さま、全職員が、信頼と親しみの輪（リング）でつながり、より充実した治療を実現したいという当院の目指す舞台（リング）を意図して名づけました。

南山手本部

広報誌発行にあたって

花冷えの候、皆さまにおかれましては風邪など召されずお過ごしでしょうか。

日頃より当院の事業や活動につき、ご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。この時季は新年度、新学期を迎えられる方も多いと思います。当院といたしましても、この機会に地域の皆さまとの交流をさらに深めることができるよう、広報誌「のびのびリング」を発刊することにいたしました。地域の皆さまに信頼され、皆さまとともに歩いていく病院として、これからも職員一丸となって頑張っていくことをお誓い申し上げます。

早朝ウォーキングは私の趣味のひとつですが、澄み切った早朝の空気と春の自然を感じながら、気持ちを新たにしています。発刊にあたり、皆さまにも、心身のリフレッシュやストレス解消に早朝ウォーキングはいかがでしょう。

これからの「のびのびリング」にご期待ください。

杠葉病院 理事長 杠葉輝明

杠葉病院は、大正13年に創設された精神科の医療機関です。長崎市南部の緑豊かな環境の中、地域に根差した医療を心がけています。職員一同、「患者様本位の医療と看護」の理念に基づいた人間的温かみのある医療サービスの提供に努めます。

病院理念

患者様本位の医療と看護

基本方針

- 一、人間としての尊厳と生活の質を重視した全人的なケアの提供
- 二、地域社会との連携を目指した医療・看護サービスの提供
- 三、職員の専門知識の向上による医療・看護の充実



「のびのびリング」創刊に寄せて 一地域の皆様へ

杠葉病院 院長 矢次正東

このたび、杠葉病院の広報誌「のびのびリング」を創刊することになりました。その意図するところは、地域に密着して生きて行く当院のいろんな活動を広く地域の皆様に知っていただき、ご指導とご鞭撻をお願いするとともに親しみをもっていただくことで、地域医療・看護・介護のさらなる発展に貢献したいとの願いにほかなりません。

私は、昨年（平成 24 年）11 月、病院長として着任し、近隣の地域医療機関の皆様へご挨拶にうかがったとき、「杠葉病院の顔がみえない」という衝撃的なコメントをいただきました。

これまで当院は、大正時代から長崎における精神科領域での地域医療を担ってきた連綿とした歴史があり、おのずと地域に十分密着している病院だと自負していただけに、地域への移行と定着へと向かう世の中の流れの中で、病院の展望や未来像を模索するにあたって、大きな不安と動揺を覚えました。

そこで私たち職員一同は、漫然と過去を引きずるのではなく、新しい時代にあわせ、地域との交流を密にした各分野の活動を活発にしていくことを決意しました。杠葉病院の脈打つ力強い新しい動きと顔を見出しただけのような広報活動を目指したいと思います。

地域との強靱な連携ネットワーク（絆）が生まれることを願いながら、皆様のご支援とご助言を切にお願い申し上げます。

院内のイベント

大村公園でお花見会 患者様に好評でした!

3月28日に、大村公園へお花見に行きました。当日は天候に恵まれ、春の暖かい空気と舞い散る桜の花の下、お弁当を楽しみながらの



びりとした楽しい時間を過ごせました。参加した患者様には「綺麗だった」「また来たい」などと好評で、同行した職員一同も嬉しいかぎりでした。

病院祭のご案内

今年の病院祭「第 8 回ゆず祭り」は、5 月 18 日に開催されます。

ステージでのバンド演奏や抽選会、患者様・職員合同のカラオケ大会のほか、たくさんの模擬店（飲食店のほか、お菓子のつかみ取りや射的ゲームなど）が出店される予定です。多数のご参加を、心よりお待ちしております。

日時：5月18日 10:00~16:00
場所：杠葉病院グラウンド(雨天の場合は院内ホール)



昨年も盛り上がりました!

ソフトボール部と弓道部をご紹介します

職員活動



ソフトボール部 まだまだ “ひよっこチーム”ですが

you's ソフトボールチーム 監督
吉田形和伸



私たちソフトボール部は、毎年開催される「藤村薬品杯病院対抗ソフトボール大会」に参加していますが、「年間を通じてソフトボールをしたい!!」という部員の声を受け、3年前に「you's ソフトボールチーム」を発足させました。

チーム名の「you's (ユーズ)」には「ゆずりはの〈ゆず〉と〈皆のための〉」という意味が込められていて、「職員間のコミュニケーションを第一に、笑顔が絶えない楽しいチームづくり」がモットーのアットホームなチームです。

チーム発足時はソフトボール未経験者も多く、成績も低迷していましたが、おとし開催された「第 50 回藤村薬品杯ソフトボール大会」では、長崎地区パート優勝を見事飾り、同年開催の県大会では「ベスト 4」という輝かしい成績を残すことができました。また、三和地区の「三和ソフトボールリーグ」にも 2 年前から参戦しています。まだ 2 部リーグですが、昨年は「6勝8敗」でリーグ5位の成績を残せました。

まだまだ、ひよっこチームですが「練習試合でもしてみたい」というチームは、気軽に声をかけてください。幅広い交流のきっかけにしたいと思っています。

今後の活動も報告していきますので、これからもよろしくをお願いします。

弓道部 県代表の出場権を得る 全日本勤労者弓道選手権大会

今年4月、私たちは「杠葉病院チーム」として初めて大会へ出場しました。

もともと個々に活動していた私たちは、今回の大会出場を目指してチームを結成。皆様の応援のおかげで無事試合を終えることができました。また、この試合で6月に開催される「全日本勤労者弓道選手権大会長崎県代表」の出場権を得ることができ、日々練習に励んでいます。

これを機会に、少しずつ活動の場を広げていきたいと思っています。(大森洋弥)



若浦選手



大森選手

コラム 桜の花

春の風物詩である桜の花は、寒季を経ないと花が咲かないことが知られています。人間も桜と同様、花咲くまでには往々にして苦難の時期があるもの。

「いつか一花咲かせる」日まで、あせらず気長にやるのが人生のコツかもしれませんね。



大瀬戸厚生園の夜桜

薬剤部だより

第 74 回九州山口薬学大会の報告 処方適正化促進に向けた薬剤情報提供のために



大会会場にて

九州山口薬学会は、1920 年代に設立された地方の薬学会として、長い歴史のある学術大会です。昨年の9月 16 日から 17 日にかけて北九州市で開催された「第 74 回九州山口薬学大会」で、当院薬剤部からは「当院におけるクロルプロマジン換算に基づいた抗精神病薬処方量の検討」というテーマについて発表しました。

この研究は、精神科の薬物療法が日本を含め世界的に単剤化・至適最小用量化(一種類の抗精神病薬を必要な分量だけ用いる方向)へと進みつつある中、紅葉病院の薬物療法はどのような方向にあるのかを調査したものです。結果として当院の抗精神病薬処方量および処方剤数は、近年5年間減少の傾向にあることが明らかになりました。今後もこの調査を継続するとともに、本研究で得られた知見を活用して、当院の処方適正化促進に向けた薬剤情報の提供に努めたいと考えています。(米澤 健)

地域生活支援室

～患者様とご家族の方へ～

外来受診や入院相談に関しては、地域生活支援室のソーシャルワーカーが対応します。
ささいなことでも構いませんので、お気軽にご相談ください。

～医療機関および施設の方へ～

地域医療連携の窓口として「地域生活支援室」が、お話をうかがいますので、ぜひご利用ください。

TEL. 095-878-3734 (代表) 受付時間：8:50～17:10
FAX. 095-878-3289 (代表)

新人紹介

4月1日から、
地域生活支援室に
新しい仲間が加わりました！



内野恭奈 (22歳)
「笑顔で頑張ります」



山下大輔 (26歳)
「気合で頑張ります」

編集後記 広報誌「のびのびリング」は、職員一同の協力で無事創刊できました。次号も、より充実した広報誌をお届けできるよう努めますので、ご意見やご要望などありましたらよろしくお願ひします。

診療科目 精神科・心療内科・内科・歯科・矯正歯科

病床数 355床 駐車場 約100台

〒850-0975 長崎県長崎市三和町 413 番地 TEL.095-878-3734 FAX.095-878-3289

本院は創設以来、患者様本意の診察と看護を実践して参りました。その精神は、新病院となった現在も基本理念として受け継がれ、これから永遠に生き続けます。

紅葉病院

検索

<http://www.yuzuriha.or.jp/>

